

## 研究課題：ネフローゼ症候群における長期寛解後の再発の特徴

### 1. 研究の目的

ネフローゼ症候群は再発が多いことで知られる疾患で、いったん改善した後も再発に備えて定期的に受診していただくことが必要ですが、一定の期間再発がなかった場合は治癒したものと定期的な受診がなくなることもあります。一方で、数年間改善を維持した後に再発を起こす方もいらっしゃいます。こういった、長期間改善していたにもかかわらず再発する症例を検討し、再発のリスク因子やどの程度の期間フォローアップを続けるべきかを検討します。

### 2. 研究の方法

2010年1月から2020年12月までに、3年以上寛解を維持した後に当院で再発と診断されたネフローゼ症候群の患者様を対象とします。診療録から、年齢、性別、体格、病歴（ネフローゼ症候群発症時期・抵抗性や依存性などの難治性の有無など）、免疫抑制剤使用の有無・内容、長期寛解前の最終再発時の治療、長期寛解後の再発時の状況（契機、年齢、他の薬剤の使用など）、各時期における血中アルブミン・尿蛋白・腎機能などの血液・尿検査所見（ネフローゼ症候群診断時、長期寛解前の最終再発時、長期寛解後の再発時など）等の情報を調べまとめます。

### 3. 研究期間

倫理委員会で承認を得られた日から西暦2022年7月31日まで。

### 4. 研究に用いる資料・情報の種類

長期間改善していた後に再発した方に関して上記2.に記載したような項目を、カルテの記載および検体検査結果から調べまとめます。画像（個人情報は一切含まない）が論文内に掲載されることがあります。

### 5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表

この研究で得られた結果は、医学雑誌などに公表されることがありますが、患者様の名前など個人情報は一切分からないようにしますので、プライバシーは守られます。また、この研究で得られたデータが本研究の目的以外に使用されることはありません。

### 6. 研究組織

研究機関：地方独立行政法人埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

研究責任者：所属 腎臓科 職 科長兼副部長 氏名 藤永周一郎

研究分担者：所属 腎臓科 職 医長 氏名 大貫裕太

研究分担者：小児科専攻医 氏名 青山周平

#### 7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年7月31日までに下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

地方独立行政法人埼玉県立病院機構

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）